

DX化の推進で、生産性の 5%UPを実現するご提案

そのヒントは**トータル管理**です



これら → → →
がトータル管理の
できるセンサです

高性能のセンサ



精密電流センサ0.001A～500A

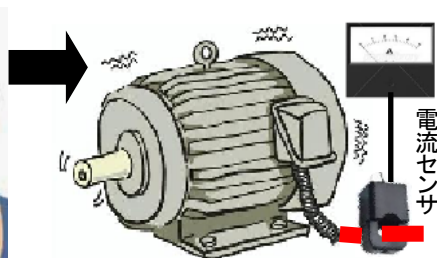
機器や工具等の精密な電流計測は、丁度**健康診断**
で脈を測っている様なもので色々な管理ができます

1台の電流センサで

- ①稼働の管理
- ②故障の監視
- ③省エネ管理
- ④予知メンテ
- ⑤電力の削減
- ⑥品質の管理
- ⑦生産性向上
- ⑧手書の削減



血流で健康管理



電流でトータルDX管理

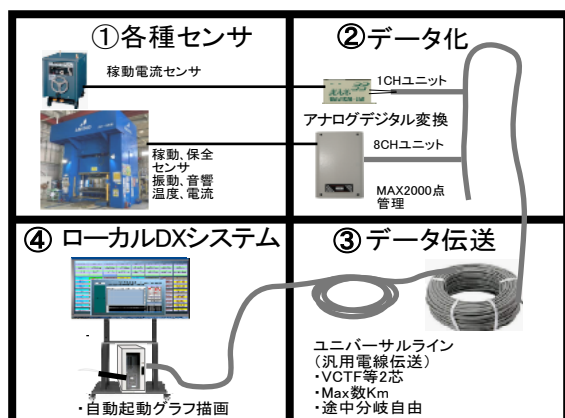
これを連続で自動計測し、自動グラフ、警報監視、情報比較、長期保存、負荷分析、過去の情報利用や組合せにより**5%UPに向けたDX情報**の一元的な管理が可能になります

これをトータルで管理※

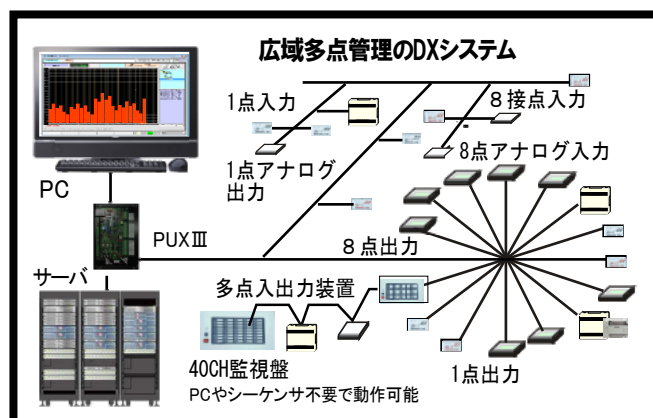
ネットワークを使うことなく現場で完結する運用も可能！

システム導入も工事一式で任せて安心です

全システム構築は①～④で一式完了です



工事も含めて、ワンストップでシステムを構築



※トータル管理のため、電流以外の各種のセンサを用意しています

費用対効果良く、5%の生産性のアップを目指した
ご提案の内容と費用の比較

試算例) 50台のDX管理のシステム一式 ※1

ご提案の一式の概算

596万円～862万円で
 御社の打合せ時間も
 含めた全一式です
 工事も含みで
 後は何もありません
 オペレータも不要です



一般的な方法の概算

475万円～1550万円
 プラス
 下表の**赤字項目**の
 経費が必要です

5% (0.05) の年間付加価値計算※4
 $5000 \times 0.05 \times 50 \text{台} \times 160\text{H} \times 12 = 24,000,000$

初期費用 (価格幅はシステム詳細、センサ種別、工事内容の違いによるものです)

納入項目	ご提案の概算	一般的な概算※2
概算購入価格 合計	586万円 ～ 852万円	約100万円 ～ 約1000万円
1 電流センサー50台	込み	不明
2 デジタル変換端末50台	込み	不明(シーケンサ等)
3 センターシステム一式	込み	込み
4 ローカルDXソフト一式	込み	込み
5 盤加工、センサ取付一式	込み	75万円～250万円(1.5～5万円/盤)
6 電気工事一式(180万円～)	込み ※3	別途(約300万円～)
7 試運転調整立上げ一式	込み	込み
8 打合せ、取説、諸経費一式	込み	込み
9 他に運用に必要なもの	無し	不明
御社の関連経費		
10 弊社(業者)との打合せ時間	5万円※4	不明
11 メーカ、盤改造打合せ	不要	必須
12 工事業者打合せ	不要	必須
13 導入時操業停止時間	無し	不明
14 試運転調整立会時間	5万円※4	不明
導入までの必要経費	596万円～862万円	475万円～1550万円+赤字項目

※1 1台の非接触センサで1台の機械や作業の稼働管理、電力管理、過負荷管理等々を行う構成です
 ※2 概算費用は汎用的なIoTでの構築等ですが、システムの機能と構成方法により大きく変わります
 ※3 工事は1台の計測管理当たり、ケーブル長を約25mでの概算です(配管、埋設、ハツリ、架空配線は別)
 ※4 費用計算は日本の生産性付加価値の平均の約5000円/1時間として計算しています(5万円=10時間)

5%の生産性のアップを目指したシステムの

ランニングコストの比較

試算例) 50台のDX管理のシステム一式

ご提案の年間維持費用

年間費用
①電気代のみ



一般的な方法の年間維持費用

システムにもよりますが
通常は下の②赤字合計
が必要です

③長期的な費用も大きく違います

- ・ご提案の伝送ベースのシステムは10年以上
今も連続で使われている案件も多くあります
- ・斬新なIoTトレンド商品の場合は安定供給性
の確認が必要ですが、そのご心配は無用です

年間維持費

関連項目	ご提案の概算	一般的な概算
1 電気代 (1kwh20円として)	17,520円 (約100W)	不明
2 通信費	不要	不明
3 システム基本使用料	不要	不明
4 クラウド使用量	不要	不明
5 データ量課金	不要	不明
御社の関連経費		
6オペレータ労務費、経費	不要	不明
年間費用合計	①17,520円	②赤字合計

③長期的な運用と費用

- a 20年以上の実績のある情報収集方法と伝送の仕組みのため、長期的な運用が可能です
- b 10年の運用で600万/120ヶ月の費用(月5万円)ですが、安物買いの銭失いではありません
- c 必要に応じて購入価格のおよそ5%の費用で年間メンテナンス契約も可能です
- d 確実な有線の信号伝送で、不安定な無線や一過性のIoTトレンドとは異なるものです
- e クラウド等の情報遅延が無く時間が有効に使え、IoT情報管理の余分な手間も不要です
- f 汎用的に使える生成したデータは御社のシステムが変わっても変更費用なく使えます
- g 社内で完結し、シンプルなため担当者交代の時でもスムーズな引き継ぎが可能です
- h 通常は複数必要な稼働、電力、保全等々の各システムが一つのシステムで完結します



**トータル管理で
相乗効果による
大幅な生産性のアップ
が期待できます！**



50台稼働率5%UPの

参考試算 5% (0.05) の年間付加価値額計算

$50 \text{台} \times 0.05 \times 5000 \times 160\text{H} \times 12 = 24,000,000$

機械or50人 5% 生産性付加価値 1日8時間x20日 1年で 2400万円の付加価値アップ

更に1ページの②～⑧の相乗効果とで、更なるアップが期待出来ます